

## 建築用下地調整材

## アレスホルダーG II

系 統 水性微弾性下地調整材

適用規格 JIS A 6909 可とう形改修塗材E 主材

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

## 特 長

- 1) 各種下地への付着性が優れています。
- 2) 長期耐久性が優れています。
- 3) 塗装作業性が優れています。
- 4) 充填性が優れています。

## 塗装条件

| 塗装方法                        | ローラー    | 多孔質ローラー | リシンガン   | エアレス(※) | タイルガン   |
|-----------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 希 積 率                       | 5~10%   | 1~5%    | 7~10%   | 7~15%   | 7~10%   |
| 標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回) | 0.3~0.5 | 0.8~1.5 | 0.7~1.0 | 0.7~1.2 | 0.7~1.2 |
| 希 積 剤                       | 上 水     |         |         |         |         |

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

## 塗料性状

| 項 目                         | 内 容       |
|-----------------------------|-----------|
| 1 荷 姿                       | 16kg      |
| 2 混 合 比                     | —         |
| 3 色                         | 白         |
| 4 つ や                       | つや消し      |
| 5 仕 上 が り 感                 | 平滑、さざ波状   |
| 6 塗 料 比 重                   | 1.62      |
| 7 溶 剤 比 重                   | 1.00(上 水) |
| 8 加 熱 残 分                   | 77%       |
| 9 劇 物 表 示<br>(品名・含有量)       | —         |
| 10 労 安 法 上 の<br>表 示 有 害 物   | —         |
| 11 有 機 則 / 特 化 則            | —         |
| 12 消 防 法 に よ る<br>危 険 物 区 分 | 非危険物      |
| 13 硬 化 剤 の 成 分<br>に よ る 区 分 | —         |

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

## 塗装間隔

| 項 目    |     | 温 度  |  |
|--------|-----|------|--|
|        |     | 23℃  |  |
| 標準塗装間隔 | 最 短 | 8 時間 |  |
|        | 最 長 | 7 日  |  |
| 使用時限   |     | —    |  |

## JIS A 6909 適用システム

|           |  |
|-----------|--|
| 可とう形改修塗材E | 主 材:本品<br>上塗材:アレスアクアシリコンAC II、アレスアクアレタン、アレスアクアグロス、コスモレタン、コスモシリコン |
|-----------|--|

## 主な適用素材

コンクリート、モルタル、ALC板

## 主な適用下塗塗料

エコカチオンシーラー、エポMシーラー、EPシーラー、浸透形Mシーラー、マルチタイルコンクリートプライマーEPO 等

## 主な適用上塗塗料

アレスセラレタン、セラシリコン中塗~上塗、セラMレタン、アレスエコレタン II、アレスアクアレタン、アレスアクアグロス、アレスアクアシリコンAC II、シリコンテックス、アレスアクアビルド、アレス水性ナノトップU、アレスアクアセラシリコン、コスモレタン、コスモシリコン、コスモマイルドシリコン II、セラMシリコン III 等

## 使用上の注意事項

- 1) 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗装は避けてください。
- 2) 素材は水分8%以下、pH10以下になるまで十分乾燥させてください。
- 3) 新設素材面や旧塗膜の吸い込みが著しい場合には必ずシーラーを塗装してください。
- 4) 塗装前には漏水処理、クラック処理を行なってください。
- 5) 旧塗膜のチョーキング層は高圧水洗などで除去してください。
- 6) 旧塗膜の浮きは電動サンダーなどで除去してください。
- 7) 目違い、段差などは樹脂モルタルなどで補修してください。(補修後はシーラーを塗装してください。)
- 8) <標準所要量について>  
平滑面については、各標準所要量の下限値を目標として下さい。
- 9) <エアレス塗装に関して>  
ブランジャー式高粘度用吹き付け機をご使用下さい。
- 10) 換気のよい場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 11) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。